

食中毒事件発生情報 臨時号

○令和2年8月以降、全国で次のような**有毒な野生キノコ**による食中毒事例が発表されています。

発表日	発生場所	原因施設	原因のキノコ	概要
死亡事例				
8/5	栃木県	家庭	種類不明	8月2日に家族が山林で採取した野生のキノコを、油炒めにして喫食した2名が、嘔吐、下痢等を発症。翌日、うち1名が多臓器不全により 死亡 。
8/31	岩手県	家庭	カエントケ (推定)	8月27日に冬虫夏草と誤って採取した野生のキノコを喫食した1名が舌のしびれを発症し、入院。
10/7	秋田県	家庭	クサウラベニタケ	直売所で購入したキノコを、10月4日に自宅でみそ汁にして喫食した4名のうち3名が嘔吐、下痢、頭痛、倦怠感を発症。直売所で販売していたハタケシメジにクサウラベニタケが混入していたことが判明。
10/9	栃木県	家庭	クサウラベニタケ (推定)	知人から譲り受けた野生のキノコを、10月8日に炊き込みご飯にして喫食した4名全員が下痢、吐き気、嘔吐を発症。
10/12	岐阜県	家庭	ツキヨタケ	ブナシメジと誤って採取した野生のキノコを、10月10日に自宅で煮込みうどんにして喫食した家族4名全員が、吐き気、嘔吐等を発症。キノコの残品から、毒キノコであるツキヨタケの毒成分を検出。
10/13	山形県	家庭	クサウラベニタケ	ナラタケと誤って採取した野生のキノコを、10月12日にみそ汁にして喫食した1名が吐き気、嘔吐、腹痛、下痢を発症。残品のキノコを鑑定したところ、毒キノコのクサウラベニタケであることを確認。
10/16	富山県	家庭	ツキヨタケ	10月15日にヒラタケと誤って採取した野生のキノコを、自宅で調理し喫食した4名全員が嘔吐等を発症し、入院。患者が喫食したキノコを鑑定したところ、ツキヨタケであることを確認。
10/16	福島県	家庭	カキシメジ (推定)	家族が採取した野生のキノコを、自宅でキノコ汁にして10月14日に喫食した3名が吐き気、嘔吐、下痢、頭痛を発症。
10/17	長野県	家庭	ツキヨタケ	10月16日にムキタケと誤って採取した野生のキノコを調理し喫食した2名が吐き気、嘔吐を発症。キノコの残品を鑑定したところ、ツキヨタケであることを確認。

※ 広島市食品安全情報センターニュースはホームページにも掲載しています。

☛ 広島市ホームページで [広島市食品安全情報センターニュース](#) と検索してください。

病因物質が調査中であつたり、患者数等が変わる場合があります。

広島市食品安全情報センター（広島市保健所 食品保健課）〔電話：241-7437〕